

第2分科会（第3班）意見

	行政からの意見		NPOからの意見	
	意見	進行役コメント	意見	進行役コメント
財政支援に関するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財政支援の仕組みを検討中。この中で、特に「県-市町村」関係をどう整理するかが課題。 ・ NPO の立上げと事業の先駆性に対して支援をしていきたい。 ・ 行政が業務として取り組む必要がない政策・事業がある。本来、民が担うべきものならば、その活動資金を支援すべき。 ・ お金をどこに出すかのプロセスが大事。公開審査会を実施し、参加者全員の投票で選考している。 ・ マatchingギフト方式の基金立上げを検討している。その中で、助成対象としての備品の扱い、審査のあり方が課題になっている。 ・ NPO 側で、せっかくの補助金を使いこなせていない。行政がどこまでサポートすべきかが課題。 ・ 議会では、どれだけ出したかを評価している。 ・ 行政職員が積極的に現場へ出て、ニーズや成果を確認し、仕組みづくりに反映していく必要がある。 	<p>「審査基準-審査-実施-評価-仕組みの改善」という一連のプロセスに一貫性を持って、対応できる体制が必要ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO と行政が、ビジョンづくりの段階から一緒になって取り組み、具体的な仕組みを構築すべき。 参考事例「ちがさき元気基金」 ・ 事前協議の段階では、行政が関与すべきではない。 	<p>仕組みづくりプロセスの共有が持続性のある関係づくり(地域力)につながる。</p>

<p>その他（協働、行政の体制、意識、財政以外の支援策、NPO の課題など）</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 今後、民が民を支える仕組みを支援していきたい。	<ul style="list-style-type: none">・ 官民の役割分担が重要。現状は、官が主で、民が従になっている場合が多い。官民がともに、課題を共有できるフラットな関係が必要。
--	---	---